

# 資金収支計算書

2018年 4月 1日から  
2019年 3月31日まで

(単位：千円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒納付金収入	1,068,600	1,061,418	7,183
手数料収入	15,530	15,603	△ 73
寄付金収入	1,700	5,105	△ 3,405
補助金収入	9,100	13,485	△ 4,385
資産売却収入	500,000	500,000	0
付随事業・収益事業収入	138,730	141,681	△ 2,951
受取利息・配当金収入	5,400	5,458	△ 58
雑収入	41,870	58,332	△ 16,462
前受金収入	184,200	194,075	△ 9,875
その他の収入	465,090	482,338	△ 17,248
資金収入調整勘定	△ 185,320	△ 188,708	3,388
前年度繰越支払資金	1,850,000	1,878,708	
収入の部合計	4,094,900	4,167,495	△ 72,595

(単位：千円)

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	834,770	822,578	12,192
教育研究経費支出	239,290	220,582	18,708
管理経費支出	150,890	160,747	△ 9,857
施設関係支出	43,720	25,360	18,360
設備関係支出	32,970	23,304	9,666
資産運用支出	1,000,000	35,900	964,100
その他の支出	463,940	519,544	△ 55,604
予備費（資金収支）	20,000		20,000
資金支出調整勘定	△ 17,000	△ 26,994	9,994
翌年度繰越支払資金	1,326,320	2,386,474	△ 1,060,154
支出の部合計	4,094,900	4,167,495	△ 72,595

# 事業活動収支計算書

2018年 4月 1日から  
2019年 3月31日まで

(単位：千円)

	科目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	学生生徒納付金	1,068,600	1,061,418	7,183
	手数料	15,530	15,603	△ 73
	寄付金	1,700	9,171	△ 7,471
	経常費等補助金	9,100	3,667	5,433
	付随事業収入	138,730	141,681	△ 2,951
	雑収入	41,870	58,311	△ 16,441
	教育活動収入計	1,275,530	1,289,850	△ 14,320
	科目	予 算	決 算	差 異
	人件費	836,470	858,478	△ 22,008
	教育研究経費	416,010	401,152	14,858
管理経費	170,410	180,299	△ 9,889	
徴収不能額等	0	334	△ 334	
教育活動支出計	1,422,890	1,440,263	△ 17,373	
教育活動収支差額	△ 147,360	△ 150,413	3,053	
教育活動外収支	科目	予 算	決 算	差 異
	受取利息配当金	5,400	5,458	△ 58
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	科目	予 算	決 算	差 異
	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	5,400	5,458	△ 58	
経常収支差額	△ 141,960	△ 144,955	2,995	
特別収支	科目	予 算	決 算	差 異
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	0	9,971	△ 9,971
	特別収入計	0	9,971	△ 9,971
	科目	予 算	決 算	差 異
	資産処分差額	0	56	△ 56
	その他の特別支出	0	16	△ 16
	特別支出計	0	72	△ 72
特別収支差額	0	9,899	△ 9,899	
予備費	20,000	0	20,000	
基本金組入前当年度収支差額	△ 161,960	△ 135,056	△ 26,904	
基本金組入額合計	△ 27,000	△ 21,702	△ 5,298	
当年度収支差額	△ 188,960	△ 156,758	△ 32,202	
前年度繰越収支差額	△ 583,910	△ 565,916	△ 17,994	
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△ 772,870	△ 722,674	△ 50,196	
(参考)				
事業活動収入計	1,280,930	1,305,279	△ 24,349	
事業活動支出計	1,442,890	1,440,335	2,555	

# 貸借対照表

2019年 3月31日現在

(単位：千円)

資産の部	
科 目	本年度末
固定資産	7,093,262
有形固定資産	5,598,950
特定資産	91,600
その他の固定資産	1,402,712
流動資産	3,002,893
資産の部合計	10,096,155

(単位：千円)

負債の部	
科 目	本年度末
固定負債	91,826
流動負債	292,483
負債の部合計	384,309
純資産の部	
科 目	本年度末
基本金	10,434,520
繰越収支差額	△ 722,674
前年度繰越消費収支超過額	△ 565,916
当年度消費収支超過額	△ 156,758
純資産の部合計	9,711,846
科 目	本年度末
負債及び純資産の部合計	10,096,155

2018年度  
財産目録  
(2019年3月31日)

(単位 円)

科 目	金 額
基本財産	5,598,949,881
運用財産	4,497,205,533
資産総額	10,096,155,414
固定負債	91,825,578
流動負債	292,483,403
負債総額	384,308,981
正味財産	9,711,846,433

資 産	基本 財産	(1) 土地	81,087.44m <sup>2</sup>	2,958,239,724	
		(2) 建物	27,203.29m <sup>2</sup>	2,108,186,937	
		(3) 構築物		385,946,598	
		(4) 教育研究用機器備品	8,809点	79,711,113	
		(5) 管理用機器備品	2,998点	27,918,439	
		(6) 図書	11,834点	24,075,727	
		(7) 車両	17台	14,871,343	
		計		5,598,949,881	
	運 用 財 産	(1) 現金・預金			
		現金			1,379,930
		普通預金			15,093,826
		定期預金			2,370,000,000
		(2) 有価証券(長期・短期)			2,000,000,000
		(3) 退職給与引当特定資産			91,600,000
		(4) 預託金			2,712,200
		(5) 未収入金			2,245,205
		(6) 貯蔵品			7,427,905
		(7) 前払金			6,578,205
		(8) 立替金			155,012
		(9) 仮払金			13,250
計			4,497,205,533		
資産総額				10,096,155,414	
負 債	固 定 負 債	(1) 退職給与引当金		91,600,000	
		(2) 徴収不能引当金		225,578	
		計		91,825,578	
	流 動 負 債	(1) 未払金		24,120,624	
		(2) 前受金		194,075,000	
		(3) 預り金		74,213,787	
(4) 仮受金			73,992		
計			292,483,403		
負債総額				384,308,981	
正味財産				9,711,846,433	

## 監 査 報 告 書

2019年5月24日

学校法人トヨタ東京整備学園

理 事 会 御 中

評 議 員 会 御 中

学校法人トヨタ東京整備学園

監 事 井 上 尚 之 

監 事 京 極 知 樹 

私たちは、学校法人トヨタ東京整備学園の監事として、私立学校法第37条第3項の規定に基づいて同学園の2018年度(2018年4月1日から2019年3月31日まで)における財産目録及び計算書類(事業活動収支計算書、資金収支計算書及び貸借対照表)を含め、学校法人の業務及び財産状況に関し監査を行いました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務及び財産に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認めました。

以 上

# 2018年度事業報告書

## 1 教育活動

### (1) 国家試験結果

( ) 前年

		合格者数(名)	合格率(%)
1級	筆記試験	95	100.0 (77.6)
	口述試験	95	100.0 (100.0)
	最終結果	95	100.0 (77.6)
2級	ガンソリン	268	100.0 (99.7)
	ジーゼル	268	100.0 (100.0)
車体整備士		39	100.0 (100.0)

※ 5/12試験、5/28合格発表のため、他校等の情報未確認  
 なお、2017年度不合格者24名のうち17名受験8名合格、2016年度23名不合格者のうち2名受験1名合格(申告ベース)

### (2) 高度化する自動車技術に対応した教育内容・手法の整備・活用、資格100%

- ① 学生多様化へ対応する基礎力重視の取り組みによる登録試験全員合格  
 (実施事項) 基礎力向上へ少人数教育を充実させ、班の人数削減・個別指導充実  
 留学生へ入学後の「毎日所感」による日本語力向上への取り組み  
 2年連続の1級試験難化へ対応し、学生基礎力充実と危機感を内外発信  
 (結果) 1級学科100%、2級ガンソリン100%、2級ジーゼル100%、ボデー100%  
 合計400%達成(10年振り)
- ② 次世代の自動車技術教育の導入へ向けた環境整備とカリキュラム構築  
 (実施事項) 企業と連携した現場に必要な先進技術教育の推進  
 TEAM-GPの2019年度スムーズな導入へ向けた全校的取り組み  
 (結果) TSS、ICSなどの先進安全技術およびセンサー位置調整の全科展開  
 カリキュラム面・設備面の検討を実施し、LANやWiFi設置決定、工事実施
- ③ 充実強化した教育環境での体験を重視した「車が好き」で「遅い」人材の育成  
 (実施事項) 校内サーキット・西キャンパスを積極活用した「楽しく」、「遅く育つ」人材の育成  
 わかりやすさ、実践力を高めたコミュニケーション教育の推進  
 (結果) 西キャンパス車両通学可能学生人数の拡大(2017年度:17台⇒2018年度:30台)  
 サービス業務認定を校内検定として定着させ、実践力が高まった  
 学生フォーミュラ大会出場2年目で車検通過、最終走行ラウンドまで進出

## 2 入学／卒業実績

単位:名

科	自動車整備	1級自動車	ボデークラフト	BC研究	スマートモビリティ	1級専攻	合計	前年	差
2018年4月入学	233	91	40	1	35	23	423	398	25
2019年3月卒業	192	79	39	1	32	16	359	435	▲76
卒業生皆勤者 178 (50%) 精勤者 50 (14%) 卒業生累計25,370名									

## 3 就職活動

### (1) 就職希望者の就職内定 100%達成 (256名)

第1希望合格率 94.5% (前年 91.9%)

### (2) オールトヨタ関係会社への就職者 235名 91.7%

詳細については、「報告事項」にて別途説明

## 4 学生募集活動

### (1) 全国的に厳しい募集環境の中、入学者の増員確保 322名 (前年 320)

- ① 他校では日本人入学者減少の中で増員確保 295名 (前年 259)
  - ② トヨタセールスエンジニア科のPRでコース選択者確保 6名(女子 1)
  - ③ 東日本トヨタ販売店協力による現地説明会の拡大 27回 人数 74名
- ( ) 前年

	応募者(名)	入学者(名)	倍率:応募/合格者
2019年度生			
1級自動車科	109 (109)	106 (90)	1.03 (1.15)
自動車整備科	236 (242)	216 (230)	1.09 (1.05)
合計	346 (345)	※322 (320)	1.07 (1.08)

※うち女子10名、留学生27名

### (2) 販売店殿・トヨタ自動車殿との連携による募集活動の「4S」※を推進

※「4S」:紹介・推薦・奨学金・社員派遣

	紹介者(名)	企業推薦(名)	奨学金制度(社)	社員派遣(名)
2019年4月入学	65	29	68	6
2018年4月入学	49	27	57	1

## 5 教職員 / 学校経営

### (1) ボデークラフト研究科スタート、トヨタセールスエンジニア科の2019年度立上げ

- ① B C研究科希望者1名、順調に充実した1年課程を修得、卒業
- ② T S E科2019年度1名、次年度9名の希望者の入学へ向け準備

### (2) 若手職員の指導力及び中堅職員のマネジメント力の計画的向上

- ① 定期的な教育方法の伝承教育の継続、授業視察を教員5年目まで拡大

### (3) 校内寮／提携マンション及び食堂の経営適正化を含むコスト削減

- ① 一誠寮(校内寮)全60室を一人部屋にリフォーム完了  
 提携マンション(6棟)の契約見直しにより、棟借り契約から学生個別契約に変更(4棟)
- ② 校内寮生用に食堂プリペイドカードへオートチャージ機能を追加し運用

### (4) 地域密着の社会貢献活動に向けた計画立案

- ① 同窓会神奈川支部設立総会(2018.5.15)、山梨支部設立総会(2018.6.11)を実施
- ② TGRP・販売店イベント・地域イベント等でキッズエンジニア体験継続展開
- ③ 東京消防庁災害時支援ボランティア、地域医療センター災害時緊急医療救護所ボランティアへ学生が初参加

### (5) 「高等教育の負担軽減」政策に即応し、低所得家庭の進学可能化を推進

- ① 2019年夏の文科省による対象校認定へ向け、役所・他校等から情報収集
- ② シラバス(授業計画書)のフォーマット化と各科、各科目の公表準備